

1月8日(火) 始業式を行いました。

校長式辞～抜粋～V字飛行を目指しましょう。

11月から12月にかけて、遠く3,000kmの彼方シベリアから白鳥や雁が渡ってきます。編隊での飛び方はV字飛行と呼ばれています。前の鳥が作る上昇気流を受け、後ろに続く鳥が体力の消耗を押さえています。

先頭になっている鳥は風の影響が強く一番辛いわけですが、どのような鳥が先頭になっていると思いますか。グループの中でボス的な鳥でも、一番体力がある鳥でもありません。しかも、先頭は固定されているわけではなく、体力を回復した鳥が交代で先頭になっています。お互いがカバーし合いながら、体力を極端に消耗し脱落する仲間が出ないようにしているのだそうです。

この渡り鳥のV字飛行を学校生活に置き換えてみましょう。部活動や生徒会活動、学級の係活動やグループでの役割など、様々な場面が考えられます。そのときに、友達に任せっきりとかリーダーに頼ってばかり、あるいは面倒な仕事は引き受けなかったり、自分のことだけ優先することはないでしょうか。それぞれの場面で、それぞれ一人一人が先頭に立つ、あるいはリーダーになる。学校全体がこのV字飛行だったらいいなと思います。一人一人が相手のことを気遣い、支え合える学級に、そして、それができる西中にしていきましょう。

